【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成21年4月2日(2009.4.2)

【公表番号】特表2009-503686(P2009-503686A)
【公表日】平成21年1月29日(2009.1.29)
【年通号数】公開・登録公報2009-004
【出願番号】特願2008-523971(P2008-523971)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｆ　11/34　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　11/34　　Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成21年2月16日(2009.2.16)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
第１コンピューティング・ノードと、第２コンピューティング・ノードおよび記憶デバイスのうちの少なくとも１つとから成るシステムにおいて、前記第１コンピューティング・ノードから前記記憶デバイスおよび前記第２コンピューティング・ノードのうちの少なくとも１つへ情報を伝達する方法であって、
利用可能なリソースについての少なくとも１つの見積もりを収集するために、前記第１コンピューティング・ノードを監視するステップと、
収集されるデータ量を、利用可能なリソースについての前記少なくとも１つの見積もりに基づいて変更するステップと、
前記データを、次のうちの少なくとも１つ、すなわち前記記憶デバイスおよび前記第２コンピューティング・ノードのうちの少なくとも１つへ送信するステップと、
を含む方法。
【請求項２】
利用可能なリソースについての前記少なくとも１つの見積もりは、次のうちの少なくとも１つ、すなわち処理能力、Ｉ／Ｏ帯域幅およびネットワーク帯域幅のうちの少なくとも１つの見積もりを含む、請求項１に記載の方法。
【請求項３】
収集されるデータ量の前記変更することは、前記データのパーツが収集される頻度を変更することを含む、請求項１に記載の方法。
【請求項４】
収集されるデータ量の前記変更することは、複数エンティティをより少ない数のエンティティに結合することを含む、請求項１に記載の方法。
【請求項５】
利用可能なリソースについての前記少なくとも１つの見積もりの増加に応答して、収集されるデータ量を増やすステップをさらに含む、請求項１に記載の方法。
【請求項６】
前記エンティティは数値を含み、複数エンティティをより少ない数のエンティティへ前記結合することは、次のうちの少なくとも１つ、すなわち平均および移動平均のうちの少なくとも１つを計算することを含む、請求項４に記載の方法。

【請求項７】
データ集約用のバッチ・サイズを決定する方法であって、
次のうちの１つ、すなわち記憶デバイスおよびコンピューティング・ノードのうちの１つへデータを送信する複数の第１コストを、別々のサイズの関数として見積もるステップと、
前記データの喪失の複数の第２コストを、別々のサイズの関数として見積もるステップと、
見積もられた前記第１コストおよび前記第２コストに基づき前記バッチ・サイズを選択するステップと、
を含む方法。
【請求項８】
前記第１コストを見積もることはコスト関数を決定することを含む、請求項７に記載の方法。
【請求項９】
前記第２コストを見積もることはコスト関数を決定することを含む、請求項７に記載の方法。
【請求項１０】
前記バッチ・サイズは、見積もられた前記コストのうちの少なくとも２つの集約を最小にすることにより決定される、請求項７に記載の方法。
【請求項１１】
前記バッチ・サイズに一致する量のデータを、前記記憶デバイスおよび前記コンピューティング・ノードのうちの少なくとも１つへ送信するステップをさらに含む、請求項７に記載の方法。
【請求項１２】
前記集約は合計を含む、請求項１０に記載の方法。
【請求項１３】
データを選択的に圧縮する方法であって、
複数の圧縮アルゴリズムのうち、利用可能な処理用リソースを上回るオーバーヘッドを招かないのはどれであるかを決定するステップと、
前記利用可能な処理用リソースを上回るオーバーヘッドを招かないと決定された前記圧縮アルゴリズムのうちの１つを選択するステップであって、前記選択されたアルゴリズムは圧縮を最大化する、前記選択するステップと、
を含む方法。
【請求項１４】
前記選択されたアルゴリズムは、データに適用されたときに忠実度において閾値を上回る、請求項１３に記載の方法。
【請求項１５】
第１コンピューティング・ノードと、第２コンピューティング・ノードおよび記憶デバイスのうちの少なくとも１つとから成るシステムにおいて、前記第１コンピューティング・ノードから前記記憶デバイスおよび前記第２コンピューティング・ノードのうちの少なくとも１つへ情報を伝達するためのプログラムであって、コンピュータに、
利用可能なリソースについての少なくとも１つの見積もりを収集するために、前記第１コンピューティング・ノードを監視するステップと、
収集されるデータ量を、利用可能なリソースについての前記少なくとも１つの見積もりに基づいて変更するステップと、
前記データを、次のうちの少なくとも１つ、すなわち前記記憶デバイスおよび前記第２コンピューティング・ノードのうちの少なくとも１つへ送信するステップと、
を実行させる、前記プログラム。
【請求項１６】
データ集約用のバッチ・サイズを決定するためのプログラムであって、コンピュータに

、
次のうちの１つ、すなわち記憶デバイスおよびコンピューティング・ノードのうちの１つへデータを送信する複数の第１コストを、別々のサイズの関数として見積もるステップと、
前記データの喪失の複数の第２コストを、別々のサイズの関数として見積もるステップと、
見積もられた前記第１コストおよび前記第２コストに基づき前記バッチ・サイズを選択するステップと、
を実行させる、前記プログラム。
【請求項１７】
データを選択的に圧縮するためのプログラムであって、コンピュータに、
複数の圧縮アルゴリズムのうち、利用可能な処理用リソースを上回るオーバーヘッドを招かないのはどれであるかを決定するステップと、
前記利用可能な処理用リソースを上回るオーバーヘッドを招かないと決定された前記圧縮アルゴリズムのうちの１つを選択するステップであって、前記選択されたアルゴリズムは圧縮を最大化する、前記選択するステップと、
を実行させる、前記プログラム。